

令和5年度

市議会要覧



三重県鳥羽市議会

目 次

市 の 概 要

I 市 勢

1. 市章	1
2. 位置・面積	1
3. 人口	1
4. 産業別人口	1
5. 職員数	1
6. 市制施行	1
7. 伊勢志摩国立公園	1
8. 鳥羽市民憲章	2
9. 姉妹都市提携	2
10. 友好都市提携	2
11. 友好交流協定	2
12. 宣言	2
13. 災害時相互応援協定締結	2
14. 市の象徴	3
15. 名誉市民	3
16. 人口	
(1) 年次別世帯・人口1世帯当たり人員の推移	4
(2) 外国人登録人口	4
(3) 地区別人口	5
(4) 年齢別・階層別人口	6
(5) 産業別就業人口	7
17. 鳥羽市行政機構図	8

II 財政状況（令和4年度当初予算）

1. 当初予算の規模	9
2. 歳入歳出予算	10
3. 財源内訳	11
4. 性質別予算	12
5. 議会費内訳	12

議会の概要

III 議会の構成

1. 議員名簿	13
2. 議員定数の変遷	14
3. 年齢別議員数	14
4. 当選回数別議員数	14

I 市 勢

1. 市 章



昭和29年11月1日制定

躍進する鳥羽市の「ト羽」を図案化したもので  はト、 は羽、中央の丸は円満平和を象徴して、海洋観光都市の飛躍発展の姿を表している。

2. 位置・面積

鳥羽市は三重県の東端に位置し志摩半島北半分を市域として、四つの離島を擁し、北は波静かな伊勢湾を望み、東は太平洋、南を志摩市に、西は朝熊山系が連なり伊勢市に接する。海岸線は、美しいリアス海岸で沿岸漁業、海苔、ワカメ、カキ養殖など多様性に富んでいる。

温暖な気候・風土に恵まれ、住み良い条件を備え、令和4年は約356万人(内外国人観光客7,061人)の観光客が訪れている。

「面積」107.34km²

(位置 東経136° 50′ 北緯34° 28′)



3. 人口 17,033人(男8,062人・女8,971人・8,183世帯) 令和5年3月末日
住民基本台帳
17,525人(男8,255人・女9,270人・7,382世帯) 令和2年国勢調査

4. 産業別就業人口 (R2国勢調査)

産業別	就業人口	構成率	市制施行時構成率
第1次産業	1,131人	12.7%	48.1%
第2次産業	1,445人	16.2%	21.6%
第3次産業	6,012人	67.4%	30.3%

5. 職員数 (令和5年4月1日現在)

区分	市長部局	議会	選管	監査	教委	農委	水道	消防	計
定数	385	6	2	2	88	2	26	46	557
実数	245	3	1	2	20	1	9	46	327

6. 市制施行 昭和29年11月1日(1町7村が合併)
三重県志摩郡鳥羽町、加茂村、長岡村、鏡浦村、桃取村、
答志村、菅島村、神島村が合併) 県内11番目の市

7. 伊勢志摩国立公園指定

昭和21年11月20日(2市8町55,550ha 鳥羽市8,739ha)

8. 鳥羽市民憲章

昭和43年11月1日制定

わたくしたちは、海の自然、山の自然に恵まれた美しい環境に育つ鳥羽の市民です。

わたくしたちの鳥羽市は、市民のたくましい不屈の精神によって築かれ、大きく発展しつつある希望のまちです。

わたくしたちは、鳥羽市民であることに誇りと責任をもち、おたがいのしあわせをねがい、よい市民となるために、市民憲章を定めて心のよりどころとしました。

愛する鳥羽が、住むひとに希望と勇気をあたえ、訪れるひとの心のふるさととなるように、みんなで力を合わせ、手を取りあってすすみたいものです。

すすんで、美しい自然と心を育て、
清潔な明るいまちをつくりましょう。
すすんで、きまりやよい風習を守り、
愛情ゆたかな家庭をきずきましょう。
すすんで、健康に心がけ、働くことに
誇りをもつ誠実なひとになりましょう。
すすんで、未来をつくる子らの教育を
のばし、清新な文化を育てましょう。
すすんで、広い視野に立ち、世界に
平和と友愛のはしをかけましょう。

9. 姉妹都市提携 昭和41年 3月24日 サンタバーバラ市(米カリフォルニア州)

10. 友好都市提携 平成23年 7月 1日 兵庫県三田市

11. 友好交流協定 平成28年10月13日 愛知県田原市議会

12. 宣 言	交通安全都市宣言	昭和37年3月15日
	衛生都市宣言	昭和39年3月25日
	非核平和都市宣言	昭和61年6月20日
	人権尊重都市宣言	平成 5年6月18日
	津波だ！みんな逃げよう宣言	平成23年 6月27日
	海女さん全力応援宣言	平成29年10月 2日

13. 災害時相互応援協定締結

岐阜県美濃市	平成23年10月17日
長野県大町市	平成24年7月4日
長野県飯島町	平成24年11月6日
兵庫県三田市	平成25年1月18日

14. 市の象徴

鳥羽市では、市民憲章の趣旨に基づいて、「市の鳥」「市の花」「市の木」が昭和44年11月1日に制定されました。

この市の象徴は、同年5月に市民に公募され、応募数鳥10点、花19点、木15点をもとに、市の象徴制定委員会（委員数12名）で審議されました。委員会では、「鳥羽市が海洋都市であること、市の独自性があらわれていること、市民に親しまれていること」基準をもうけ、6月30日、鳥に「かもめ」、花に「はまなでしこ」、木に「やまとたちばな」を選定することを決定しました。9月20日から開催された第3回定例市議会で承認されました。

「市の花」



はまなでしこ

「市の木」



やまとたちばな

「市の鳥」



かもめ

15. 名誉市民

○ 御木本幸吉翁（昭和42年11月1日 初代名誉市民に推挙）

安政5年、鳥羽に生まれる。家は代々「阿波幸」の屋号で、うどん屋を家業としていた。明治14年、鳥羽士族の娘うめと結婚。この良き内助の妻を得たおかげで、幸吉は心おきなく自分の理想を追うことができた。明治23年、内国勸業博覧会に生きた真珠貝を出品して人々を驚かせたが、その時、東京帝大の箕作博士から真珠養殖の示唆を得、真珠養殖の研究に入った。失敗と苦難の連続の末、明治26年相島（真珠島）で、半円の養殖真珠を取り出すことに成功した。幸吉35歳、うめ29歳であった。その後、工夫と改良を重ね遂に明治38年、真円真珠が完成した。その生涯も真珠一途に捧げ、天然真珠をしのぐ品質の養殖真珠を発明し、世界の真珠王として名声をあげ、ミキモトの名は真珠の代名詞となった。郷土にとっても、鳥羽の名を世界に有名にし、また、産業、観光の面で御木本幸吉の力に負うところは大きく、初代の鳥羽市名誉市民である。昭和29年没、96歳。正四位、勲一等に叙せられる。

○ 中村幸吉氏（昭和43年2月24日 名誉市民に推挙）

明治27年答志町に生まれる。父の中村与助は、明治36年から44年まで二期県会議員を務めた。幸吉は昭和14年から昭和22年まで県会議員を務め、昭和29年に鳥羽市誕生とともに初代市長に当選、昭和41年11月まで三期にわたって就任、合併当初の財源の調達、漁港の整備、道路の開通、離島間の航路の買収と経営などで財政規模の小さい鳥羽市では苦勞の発足であった。加えて昭和34年、伊勢湾台風で大被害を受け、特に学校は6校がほぼ全壊に近く、大きな打撃となったが、中央との交渉が功を奏し、高率の国庫補助を得て、7校が鉄筋校舎となって再建された。次いで環境衛生に意を用い、全市の水道化の推進、漁業振興のための投石漁礁、育てる漁業育成のための水産研究所の設置、農業振興として農業の多角経営の推進と指導、観光地としての整備など多くの業績をあげ、鳥羽市発展の基礎をつくった名市長として聞こえ高い。将来の見通しをたてた大きな構想をもち、パールロード、佐田浜海岸の整備、加茂干拓などはそのまま次代谷本荘司市長に引き継がれ、今日の発展をもたらしている。

○ 小田嶋修三氏（昭和43年10月7日 名誉市民に推挙）

岩手県北上市に生まれる。大正6年、鈴木商店に入社し、鳥羽に赴任。帝国造船鳥羽造船所に電気部を創立して、電動機の製造を開始する。のち神戸製鋼所鳥羽工場長を経て、同常務取締役、神鋼電機顧問等を歴任した。この間、特許13、実用新案41の発明考案を行い、電気事業に尽した功により、藍綬褒章、勲四等旭日小綬章を受けた。鳥羽商工会議所初代会頭。昭和43年没、80歳。

16. 人 口

(1) 年次別世帯・人口1世帯当たり人員の推移（各年10月1日現在）

（単位：人）

年 次	世 帯 数	人 口			一世帯当たりの 人 員
		総 数	男	女	
大正 14年	4,598	23,891	12,319	11,572	5.20
昭和 5年	4,417	23,632	11,951	11,681	5.35
10年	4,565	24,205	12,067	12,138	5.30
15年	4,553	24,488	12,296	12,192	5.38
22年	5,823	28,931	13,739	15,192	4.97
25年	5,651	30,222	14,708	15,514	5.35
30年	5,761	30,121	14,609	15,512	5.23
35年	6,007	30,521	14,688	15,833	5.08
40年	6,297	30,098	14,365	15,733	4.78
45年	6,603	29,462	14,156	15,306	4.46
50年	7,011	29,346	14,149	15,197	4.19
55年	7,683	28,812	13,915	14,897	3.75
60年	7,865	28,363	13,636	14,727	3.61
平成 2年	7,961	27,320	13,038	14,282	3.43
7年	8,566	26,806	12,753	14,053	3.13
12年	8,413	24,945	11,783	13,162	2.97
17年	8,167	23,067	10,855	12,212	2.82
22年	8,057	21,435	10,086	11,349	2.61
27年	7,730	19,448	9,082	10,366	2.44
令和 2年	7,382	17,525	8,255	9,270	2.30

資料：国勢調査

(2) 外国人登録人口（各年3月末日現在）

（単位：人）

年 次	人 口			世帯数
	総数	男	女	
平成 20年	217	38	179	161
21年	275	40	235	210
22年	244	40	204	233
23年	214	39	175	198
24年	218	44	174	193
25年	184	32	152	171
26年	106	26	80	96
27年	102	29	73	92
28年	110	33	77	101
29年	126	37	89	116
30年	221	44	177	211
令和 1年	216	45	171	209
2年	303	62	241	289
3年	274	81	193	254
4年	249	92	157	225
5年	334	139	195	300

資料：市民課

(3) 地区別人口（各年10月末日現在）

(単位：人)

地 区		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
		世帯数	人口総数	世帯数	人口総数	世帯数	人口総数	世帯数	人口総数
鳥羽地区	鳥羽一丁目	231	431	213	394	215	390	225	396
	鳥羽二丁目	225	359	220	343	223	345	218	330
	鳥羽三丁目	235	443	224	427	224	415	215	398
	鳥羽四丁目	202	419	193	386	193	378	192	369
	鳥羽五丁目	131	270	130	264	125	253	126	242
	小浜町	402	781	411	783	407	776	399	753
	堅神町	190	458	192	452	195	456	197	454
	池上町	470	980	457	951	450	931	440	913
	屋内町	164	348	165	349	166	348	162	336
		鳥羽地区計	2,250	4,489	2,205	4,349	2,198	4,292	2,174
加茂地区	安楽島町	1,366	2,995	1,401	3,006	1,402	2,973	1,405	2,961
	高丘町	245	600	250	594	249	592	248	575
	大明東町	268	553	264	519	263	501	269	498
	大明西町	253	526	251	511	259	501	257	504
	幸丘	153	371	149	358	146	339	144	332
	船津町	282	599	280	584	283	578	266	548
	若杉町	103	222	103	218	103	214	99	209
	岩倉町	286	658	288	643	288	632	288	623
	河内町	156	332	155	316	153	309	152	303
	松尾町	311	772	309	751	306	745	306	733
	白木町	66	168	70	175	70	172	72	173
	加茂地区計	3,489	7,796	3,520	7,675	3,522	7,556	3,506	7,459
長岡地区	相差町	462	1,215	457	1,167	452	1,141	459	1,117
	国崎町	121	295	119	282	118	261	112	248
	畔蛸町	79	228	81	217	80	207	78	196
	千賀町	27	67	28	64	28	61	25	56
	堅子町	25	47	24	47	23	47	22	44
	長岡地区計	714	1,852	709	1,777	701	1,717	696	1,661
鏡浦地区	石鏡町	240	433	225	401	216	389	221	378
	浦村町	384	814	372	770	360	739	360	714
	浦村町(今浦)	119	267	118	250	117	243	116	236
	浦村町(本浦)	265	547	254	520	243	496	244	478
		鏡浦地区計	624	1,247	597	1,171	576	1,128	581
離島地区	桃取町	277	565	264	539	253	523	247	506
	答志町	515	1,438	510	1,392	507	1,355	502	1,305
	答志町(答志)	353	1,055	350	1,014	350	990	342	951
	答志町(和具)	162	383	160	378	157	365	160	354
	菅島町	214	537	218	520	216	505	211	486
	神島町	162	337	159	325	155	314	146	302
	坂手町	213	311	200	288	196	282	189	274
	離島地区計	1,381	3,188	1,351	3,064	1,327	2,979	1,295	2,873
	総計	8,458	18,572	8,382	18,036	8,324	17,672	8,252	17,276

資料：住民基本台帳

(4) 年齢別・階層別人口 (各年10月末日現在)

(単位：人)

年齢(歳)	令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	総数	男	女									
総数	18,572	8,719	9,853	18,029	8,480	9,549	17,672	8,348	9,324	17,276	8,171	9,105
0～4	479	254	225	451	234	217	411	224	187	385	213	172
5～9	553	301	252	537	284	253	522	276	246	504	264	240
10～14	672	357	315	644	353	291	596	330	266	555	312	243
15～19	797	426	371	756	391	365	767	403	364	697	361	336
20～24	870	424	446	785	404	381	750	380	370	746	375	371
25～29	652	321	331	633	310	323	625	323	302	643	338	305
30～34	710	368	342	652	327	325	635	325	310	621	323	298
35～39	841	406	435	804	403	401	749	385	364	706	364	342
40～44	951	484	467	889	465	424	850	439	411	798	408	390
45～49	1,073	493	580	1,001	471	530	1,000	477	523	991	476	515
50～54	1,176	559	617	1,118	525	593	1,115	517	598	1,076	520	556
55～59	1,367	695	672	1,368	690	678	1,267	626	641	1,221	588	633
60～64	1,484	716	768	1,414	682	732	1,377	676	701	1,376	692	684
65～69	1,720	842	878	1,625	805	820	1,611	782	829	1,513	716	797
70～74	1,500	723	777	1,664	797	867	1,759	851	908	1,755	857	898
75～79	1,273	528	745	1,223	518	705	1,139	508	631	1,177	519	658
80～84	1,086	406	680	1,082	414	668	1,066	401	665	1,054	412	642
85～89	811	271	540	809	262	547	833	276	557	828	271	557
90歳以上	557	145	412	574	145	429	600	149	451	630	162	468
(再掲)												
0～14	1,704	912	792	1,632	871	761	1,529	830	699	1,444	789	655
15～64	9,921	4,892	5,029	9,420	4,668	4,752	9,135	4,551	4,584	8,875	4,445	4,430
65～	6,947	2,915	4,032	6,977	2,941	4,036	7,008	2,967	4,041	6,957	2,937	4,020
割合(%)												
15歳未満	9.2	10.5	8.0	9.1	10.3	8.0	8.7	9.9	7.5	8.4	9.7	7.2
15～64	53.4	56.1	51.0	52.2	55.0	49.8	51.7	54.5	49.2	51.4	54.4	48.7
65歳以上	37.4	33.4	40.9	38.7	34.7	42.3	39.7	35.5	43.3	40.3	35.9	44.2

資料：住民基本台帳

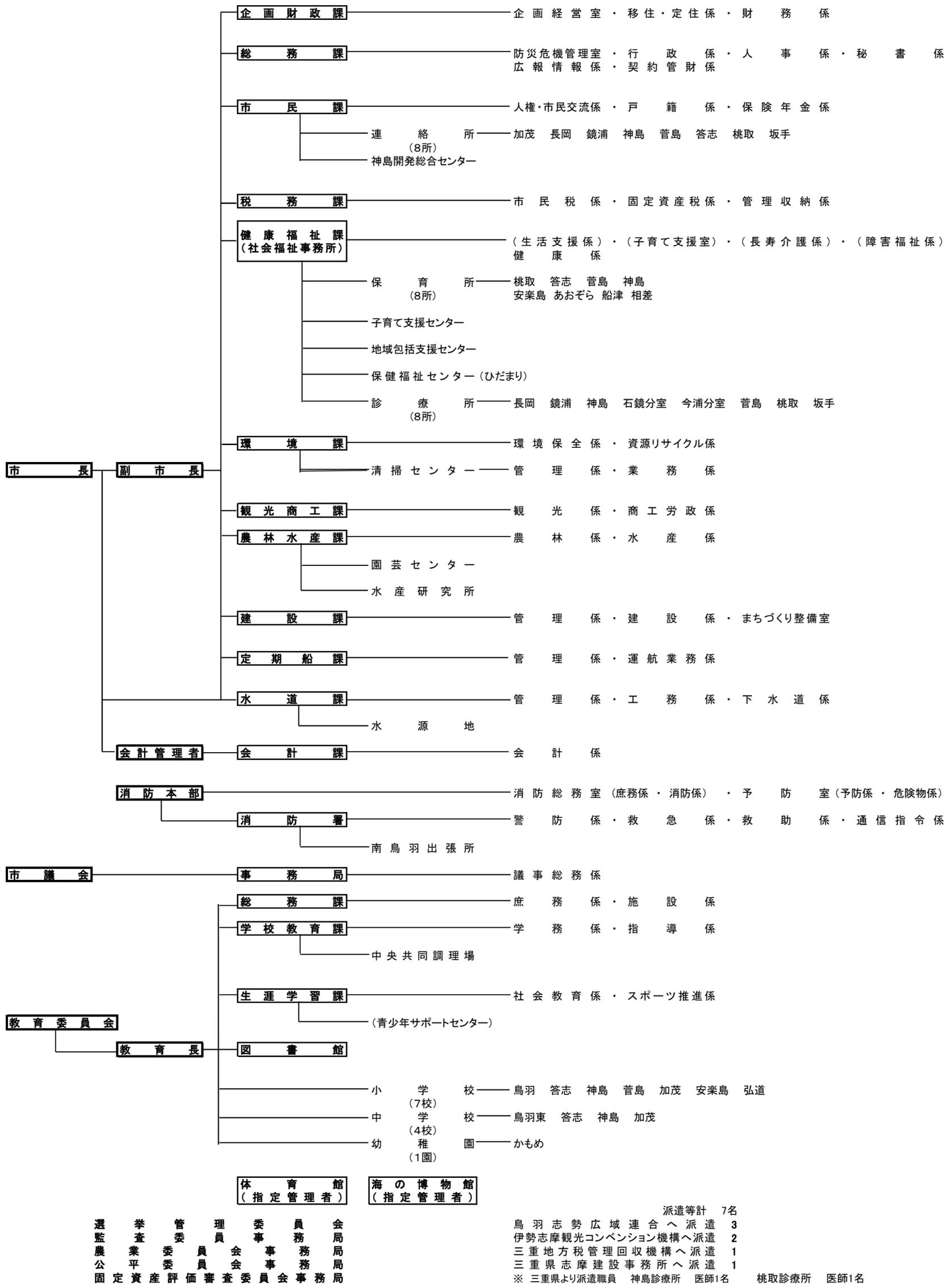
(5) 産業別就業人口 (各年10月1日現在)

(単位：人)

区 分		平成27年			令和2年		
		総数	男	女	総数	男	女
総 数		9,953	5,146	4,807	8,920	4,603	4,317
第 一 次 産 業	農 業	141	89	52	116	77	39
	林 業	4	3	1	3	3	0
	漁 業	1,285	729	556	1,012	600	412
	計	1,430	821	609	1,131	680	451
比 率 (%)		14.4%	16.0%	12.7%	12.7%	14.8%	10.4%
第 二 次 産 業	鉱 業	14	14	0	14	12	2
	建 設 業	571	490	81	471	405	66
	製 造 業	1,106	691	415	960	609	351
	計	1,691	1,195	496	1,445	1,026	419
比 率 (%)		17.0%	23.2%	10.3%	16.2%	22.3%	9.7%
第 三 次 産 業	電気・ガス・熱供給・水道業	20	16	4	27	18	9
	情 報 通 信 業	29	17	12	30	16	14
	運 輸 業	377	325	52	327	282	45
	卸 売 ・ 小 売 業	1,316	526	790	1,136	463	673
	金 融 ・ 保 険 業	94	29	65	81	22	59
	不 動 産 業	81	55	26	63	39	24
	飲 食 店 ・ 宿 泊 業	2,026	815	1,211	1,866	776	1,090
	医 療 ・ 福 祉	779	181	598	780	182	598
	教 育 ・ 学 習 支 援 業	360	159	201	320	136	184
	複 合 サ ー ビ ス 事 業	168	99	69	141	83	58
	サービス業(他に分類されないもの)	920	501	419	889	485	404
	公務(他に分類されないもの)	375	268	107	352	246	106
	計	6,545	2,991	3,554	6,012	2,748	3,264
比率(%)		65.8%	58.1%	73.9%	67.4%	59.7%	75.6%
分 類 不 能 の 産 業		287	139	148	332	149	183
比率(%)		2.9%	2.7%	3.1%	3.7%	3.2%	4.2%

資料：国勢調査

17. 鳥羽市行政機構図 (令和5年4月1日現在)



Ⅱ 財政状況（令和5年度当初予算）

1. 当初予算の規模

（単位：千円・％）

会 計		令和5年度	令和4年度	伸 率
一 般 会 計		12,460,000	11,610,000	7.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	2,900,000	2,900,000	0.0
	介 護 保 険 事 業	2,820,000	2,745,000	2.7
	定 期 航 路 事 業	800,000	665,000	20.3
	特定環境保全公共下水道事業	160,000	165,000	△ 3.0
	後 期 高 齢 者 医 療	567,000	545,500	3.9
	小 計	7,247,000	7,020,500	3.2
企 業 会 計	水 道 事 業	1,696,200	1,745,000	△ 2.8
合 計		21,403,200	20,375,500	5.0

令和5年度予算の規模は、一般会計、特別会計及び企業会計で総額214億320万円となり、前年度と比べ10億2,770万円（5.0％）の増となっている。

一般会計では、前年度より8億5,000万円（7.3％）増の124億6,000万円となっている。

また、特別会計では前年度より2億2,650万円（3.2％）増の総額72億4,700万円となり、企業会計では前年度より4,880万円（2.8％）減の16億9,620万円となっている。

2. 歳入歳出予算

(単位：千円・%)

歳 入			歳 出		
款	予 算 額	構成比	款	予 算 額	構成比
1 市 税	2,733,482	21.9	1 議 会 費	129,271	1.0
2 地方譲与税	67,000	0.5	2 総 務 費	2,885,010	23.1
3 利子割交付金	1,000	0.0	3 民 生 費	3,383,646	27.2
4 配当割交付金	10,000	0.1	4 衛 生 費	1,493,840	12.0
5 株式等譲渡所得割交付金	13,000	0.1	5 農林水産業費	341,908	2.7
6 法人事業税金交付金	35,000	0.3	6 観 光 商 工 費	326,393	2.6
7 地方消費税金交付金	485,000	3.9	7 土 木 費	825,223	6.6
8 環境性能割交付金	8,000	0.1	8 消 防 費	556,185	4.5
9 地方特例金交付金	9,000	0.1	9 教 育 費	934,046	7.5
10 地方交付税	3,690,000	29.6	10 災 害 復 旧 費	19,750	0.2
11 交通安全対策特別交付金	1,000	0.0	11 公 債 費	1,379,728	11.1
12 分担金及び負担金	27,872	0.2	12 諸 支 出 金	175,000	1.4
13 使用料及び手数料	274,058	2.2	13 予 備 費	10,000	0.1
14 国庫支出金	1,175,365	9.4			
15 県 支 出 金	730,115	5.9			
16 財 産 収 入	55,400	0.4			
17 寄 附 金	906,300	7.3			
18 繰 入 金	1,304,869	10.5			
19 繰 越 金	100,000	0.8			
20 諸 収 入	125,939	1.0			
21 市 債	707,600	5.7			
△ 自動車取得税交付金	0	0.0			
歳 入 合 計	12,460,000	100.0	歳 出 合 計	12,460,000	100.0

3. 財源内訳

(単位：千円・%)

款		当 初 予 算	備 考	
自 主 財 源	1	市税	2,733,482	市民税 747,869 固定資産税 1,499,013 軽自動車税 68,772 市たばこ税 149,390 入湯税 157,047 都市計画税 111,391
	12	分担金及び負担金	27,872	
	13	使用料及び手数料	274,058	使用料 237,898 手数料 36,160
	16	財産収入	55,400	財産運用収入 38,535 財産売却収入 16,865
	17	寄附金	906,300	
	18	繰入金	1,304,869	
	19	繰越金	100,000	
	20	諸収入	125,939	延滞金加算金及び過料 10,000 市預金利子 19 貸付金元利収入 1,012 雑入 114,908
		計	5,527,920	44.4
	依 存 財 源	2	地方譲与税	67,000
3		利子割交付金	1,000	
4		配当割交付金	10,000	
5		株式等譲渡所得割交付金	13,000	
6		法人事業税交付金	35,000	
7		地方消費税交付金	485,000	
8		環境性能割交付金	8,000	
9		地方特例交付金	9,000	
10		地方交付税	3,690,000	
11		交通安全対策特別交付金	1,000	
源	14	国庫支出金	1,175,365	国庫負担金 730,980 国庫補助金 436,707 国庫委託金 7,678
	15	県支出金	730,115	県負担金 380,224 県補助金 297,116 県委託金 52,775
	21	市債	707,600	
合計	計	6,932,080	55.6	
		12,460,000	100.0	

4. 性質別予算

(単位：千円)

科 目	金 額
1 人 件 費	2,506,014
2 扶 助 費	1,341,619
3 公 債 費	1,379,728
4 物 件 費	2,200,218
5 維 持 補 修 費	71,473
6 補 助 費 等	1,392,135
7 積 立 金	1,113,916
8 投 資 及 び 金	0
9 貸 付 金	10,000
10 繰 出 金	1,299,169
11 普 通 建 設 費	1,115,978
12 災 害 復 旧 費	19,750
13 予 備 費	10,000
合 計	12,460,000

5. 議会費内訳

(単位：千円)

科 目	当 初 予 算 額	
	5 年 度	4 年 度
1 報 酬	58,098	61,636
2 給 料	12,138	12,274
3 職 員 手 当 等	24,824	26,132
4 共 済 費	22,988	23,290
7 報 償 費	140	140
8 旅 費	3,068	3,303
9 交 際 費	150	150
10 需 用 費	2,275	2,145
11 役 務 費	63	46
12 委 託 料	2,247	2,184
13 使 用 料 及 び 借 料	702	762
17 備 品 購 入 費	50	50
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	2,528	2,675
26 公 課 費	0	33
賃 金	0	0
合 計	129,271	134,820

1. 議員名簿（令和5年5月15日現在）

議長 河村 孝（令和5年5月15日就任）

副議長 濱口 正久（令和5年5月15日就任）

監査委員 木下 順一（令和5年5月15日就任）

任期：令和5年5月15日～令和7年5月15日

議員定数：条例定数13名・現員数13名

鳥羽市議会議員名簿

◎委員長○副委員長

議席	氏名	住所	年齢	党派	当選回数	職業	常任委員会	備考
1	せこまさひと 世古雅人	相差町	61	無所属	1	無職	行政 予算決算	広報広聴
2	やまもとよしひさ 山本欽久	神島町	47	無所属	1	旅館業	行政 予算決算	議運 ○広報広聴
3	なかむらこうじ 中村浩二	安楽島町	43	日本共産党	1	無職	○行政 予算決算	広報広聴
4	せさきしんいち 瀬崎伸一	畔蛸町	47	無所属	2	介護業	行政 ○予算決算	議運
5	みなみがわのりゆき 南川則之	白木町	65	無所属	2	会社員	行政 ◎予算決算	議運
6	はまぐちまさひさ 濱口正久	答志町	54	自由民主党	2	飲食業	行政 予算決算	副議長 ◎広報広聴
7	やまもとてつや 山本哲也	屋内町	44	無所属	3	会社員	行政 予算決算	○議運 広報広聴
8	かわむらたかし 河村孝	石鏡町	52	自由民主党	3	無職		議長 広報広聴
9	とがみけん 戸上健	安楽島町	77	日本共産党	4	「鳥羽民報」 編集長	行政 予算決算	
10	きのしたじゅんいち 木下順一	浦村町	62	無所属	4	会社員	行政 予算決算	監査委員
11	さかくらひろこ 坂倉広子	船津町	60	公明党	5	無職	行政 予算決算	◎議運 広報公聴
12	おさきみき 尾崎幹	安楽島町	61	無所属	5	コンサル 顧問業	◎行政 予算決算	議運
13	せこやすひで 世古安秀	国崎町	71	無所属	6	旅館業	行政 予算決算	

2. 議員定数の変遷

条例定数（地自第91条第1項）	13人
125人 昭和29年11月 1日	可決
30人 昭和30年 3月19日	可決（昭和30年一般選挙から適用）
28人 昭和54年 2月10日	可決（昭和54年一般選挙から適用）
26人 昭和57年 3月24日	可決（昭和58年一般選挙から適用）
24人 昭和60年 9月24日	可決（昭和62年一般選挙から適用）
22人 平成 2年 9月20日	可決（平成 3年一般選挙から適用）
19人 平成 6年 9月21日	可決（平成 7年一般選挙から適用）
16人 平成15年12月22日	可決（平成19年一般選挙から適用）
14人 平成23年 3月 9日	可決（平成23年一般選挙から適用）
13人 令和 4年 6月27日	可決（令和 5年一般選挙から適用）

3. 年齢別議員数（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

年齢	1期	2期	3期	4期	5期	6期	計
40～44	1		1				2
45～49	1	1					2
50～54		1	1				2
55～59							0
60～64	1			1	2		4
65～69		1					1
70～74						1	1
75～79				1			1
80～84							0
合計	3	3	2	2	2	1	13

4. 当選回数別議員数（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

当選回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計
議員数	3	3	2	2	2	1	13

5. 党派別委員会所属数（令和5年5月15日現在）

（単位：人）

区分	定数	現員数	党派別			
			自由民主党	公明党	日本共産党	無所属
行政常任委員会	12	12	1	1	2	8
予算決算常任委員会	12	12	1	1	2	8
議会運営委員会	6	6		1		5
広報広聴委員会	7	7	2	1	1	3

6. 委員会名簿 (令和5年6月9日現在)

◎委員長 ○副委員長

行政常任委員会 (12人)			
◎ 尾 崎 幹	瀬 崎 伸 一	戸 上 健	
○ 中 村 浩 二	南 川 則 之	木 下 順 一	
世 古 雅 人	濱 口 正 久	坂 倉 広 子	(オブザーバー)
山 本 欽 久	山 本 哲 也	世 古 安 秀	議長
予算決算常任委員会 (12人)			
◎ 南 川 則 之	中 村 浩 二	木 下 順 一	
○ 瀬 崎 伸 一	濱 口 正 久	坂 倉 広 子	
世 古 雅 人	山 本 哲 也	尾 崎 幹	(オブザーバー)
山 本 欽 久	戸 上 健	世 古 安 秀	議長

議会運営委員会 (6人)

◎ 坂 倉 広 子	山 本 欽 久	南 川 則 之	(オブザーバー)
○ 山 本 哲 也	瀬 崎 伸 一	尾 崎 幹	正副議長

広報広聴委員会 (7人)

◎ 濱 口 正 久	世 古 雅 人	山 本 哲 也	
○ 山 本 欽 久	中 村 浩 二	坂 倉 広 子	及 び 議 長

議会改革推進特別委員会 (12人)

◎ 山 本 哲 也	瀬 崎 伸 一	木 下 順 一	
○ 世 古 雅 人	南 川 則 之	坂 倉 広 子	
山 本 欽 久	濱 口 正 久	尾 崎 幹	(オブザーバー)
中 村 浩 二	戸 上 健	世 古 安 秀	議長

7. 各委員会の構成

委員会名	所 管 事 項
行政常任委員会	企画財政課、総務課、市民課、税務課、健康福祉課、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員事務局、議会事務局、教育委員会、環境課、農林水産課、観光商工課、農業委員会、建設課、定期船課、水道課に関する事
予算決算常任委員会	予算及び決算に関する事
議会運営委員会	議会の運営に関する事、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事、議長の諮問に関する事
広報広聴委員会	議会の広報及び広聴に関する事
議会改革推進特別委員会	議会改革に関する事

8. 一般質問・質疑者数（令和4年5月1日～令和5年4月30日）

区 分	一 般 質 問		質 疑	
	人 数	件 数	人 数	件 数
令和4年5月1日～ 令和5年4月30日	27	50	1	1

9. 議会開催状況（令和4年5月1日～令和5年4月30日）

区分	会期	本会議 (日)	会議時間	上程件数
通 年 会 期	令和4年6月8日～6月27日	4	5:11	24
	7月29日	1	0:20	3
	8月31日～9月27日	4	6:24	23
	10月31日	1	0:15	1
	11月30日～12月19日	6	10:09	22
	令和5年1月23日	1	0:14	1
	3月1日～3月31日	6	9:15	37
	令和5年4月28日	1	0:11	1
合計	通年会期365日間	24	33:37	112

10. 常任委員会開催状況（令和4年5月1日～令和5年4月30日）

区分	通年会期（日）	会議時間
行政常任委員会	8	8:21
予算決算常任委員会	19	57:15
合計	27	65:36

11. 特別委員会開催状況（令和4年5月1日～令和5年4月30日）

区分	通年会期（日）	会議時間
議会改革推進特別委員会	9	8:18

12. 提出議案

区 分	通年会期（令和4年5月1日～令和5年4月30日）								合 計
	6/8～6/27	7/29	8/31～9/27	10/31	11/30～12/19	1/23	3/1～3/31	4/28	
条 例	5		6		10		14		35
予 算	3	2	3	1	8	1	13	1	32
決 算			2						2
契 約									
財産取得・処分	1								1
負担付寄付									
権利放棄									
訴 訟					1				1
損 害 賠 償									
議 会 権 限									
専決処分・その他	12		2		3		8		25
請 願			2						2
選 挙	1								1
選 任							1		1
報 告	2		6						8
意 見 書			2						2
決 議		1					1		2
合 計	24	3	23	1	22	1	37	1	112

13. 議決結果

区 分	通年会期（令和4年5月1日～令和5年4月30日）								合 計
	6/8～6/27	7/29	8/31～9/27	10/31	11/30～12/19	1/23	3/1～3/31	4/28	
原案可決	9	3	12	1	21	1	35	1	83
修正可決									
否 決									
同 意	12		1		1		2		16
承 認									
否認・不承認									
認 定			2						2
採 択			2						2
趣旨採択									
継続審査									
不採択									
了 承	2		6						8
そ の 他	1								1
合 計	24	3	23	1	22	1	37	1	112

14. 請 願 (令和4年5月1日 ~ 令和5年4月30日)

件 名	上程年月日 委員会	結 果
適格請求書等保存方式（インボイス制度）における、シルバー人材センターに対する支援を求める意見書に関する請願	R4. 8. 31 行政常任	R4. 9. 27 採択
鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める請願	R4. 8. 31 行政常任	R4. 9. 27 採 択

15. 委員会別請願件数 (令和4年5月1日 ~ 令和5年4月30日)

区分	受理件数	審 査 結 果				
		採 択	不 採 択	趣旨採択	一部採択	廃 案
行政常任委員会	2	2				
合計	2	2				

16. 意 見 書 (令和4年5月1日 ~ 令和5年4月30日)

件 名	上程年月日	結 果	
		年 月 日	可 否
適格請求書等保存方式（インボイス制度）における、シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	R4. 9. 27	R4. 9. 27	可 決
鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める意見書の提出について	R4. 9. 27	R4. 9. 27	可 決

17. 新 条 例 (令和4年5月1日 ~ 令和5年4月30日)

件 名	上程年月日	結 果	
		年 月 日	可 否
鳥羽市公共施設等管理適正化基金条例	R4. 11. 30	R4. 12. 19	可 決
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	R4. 11. 30	R4. 12. 19	可 決
鳥羽市個人情報の保護に関する法律の施行等に関する条例	R5. 3. 1	R5. 3. 24	可 決
鳥羽市情報公開・個人情報保護審査会条例	R5. 3. 1	R5. 3. 24	可 決
鳥羽市議会個人情報保護条例	R5. 3. 24	R5. 3. 24	可 決

1. 年度別行政視察来庁者数（平成29年度～令和4年）

（件数：人）

地区 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
北海道	1 - 10	1 - 6	3 - 21			2 - 15
東北	7 - 46	1 - 12	2 - 16			
関東	8 - 71	5 - 54	3 - 20			
北陸	1 - 10	2 - 11	1 - 7			
東海	2 - 17	7 - 66	2 - 15	2 - 22	2 - 18	1 - 7
近畿	2 - 18	4 - 48	6 - 52			3 - 22
中国	1 - 10	4 - 36	1 - 7			
四国	1 - 8		2 - 19			
九州	8 - 47	4 - 35	2 - 10			5 - 38
合計	31 - 237	28 - 268	22 - 167	2 - 22	2 - 18	11 - 82

2. 月別行政視察来庁者数（令和4年度）

（件数：人）

地区	北海道	関東	東海	中国	九州	合計
	東北	北陸	近畿	四国		
4						
5					1 - 9	1 - 9
6						
7	1 - 6		2 - 13			3 - 19
8					2 - 15	2 - 15
9						
10					1 - 7	1 - 7
11	1 - 9		1 - 7			2 - 16
12						
1					1 - 7	1 - 7
2			1 - 9			1 - 9
3						
計	2 - 15		4 - 29		5 - 38	11 - 82

3. 行政視察内容（令和4年度）

NO	視察内容	対応課
1	統一標準服及び準制服について	教育委員会
2	一般質問の運用について（要旨と通告内容） タブレット端末の運用状況について 通年議会について	議会事務局
3	鳥羽市議会におけるIT化の推進について	議会事務局
4	鳥羽市の離島診療所をICTで連携した遠隔医療の取り組みについて 鳥羽市における地域共生社会の推進について	健康福祉課
5	議会改革の取り組みについて	議会事務局
6	議会IT化の推進に係る取組について	議会事務局
7	公共交通について	定期船課 企画財政課
8	議会におけるICT化の具体的取組と課題 議会におけるタブレット端末の利活用と状況と課題	議会事務局
9	鳥羽市議会のIT化の推進について	議会事務局
10	牡蠣殻を活用したアサリの養殖事業の取り組み	農水商工課
11	広報広聴機能の取り組み	議会事務局

【ケーブルテレビによる録画放送（本会議）】

平成20年9月から本会議の様態をケーブルテレビにて録画放送を開始。
本会議開催の2日後、13：10～、19：10～の2回放送。
表決の放送終了翌日より毎日再放送。

【議会報告会並びに意見交換会】

平成21年10月第1回議会報告会並びに意見交換会を実施。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開催箇所数	18	36	38	29	27
市民参加人数	460	852	631	561	446

平成28年度からTOBAミライトークとして手法を変更して実施。

【ソーシャルメディアの利用】

Twitter 平成22年2月～
USTREAM 平成22年9月～平成30年9月
YouTube 平成24年3月～
Facebook 平成27年4月～
LINE 令和2年8月～

【鳥羽市議会基本条例】

平成23年4月鳥羽市議会基本条例を施行。（平成22年12月制定）

【正副議長の立候補制による選挙の実施】

平成23年5月から全員協議会において立候補表明を行う。（インターネットでも配信）

【会派制の廃止】

平成23年5月から会派制を廃止。

【タブレット端末の活用】

平成23年に議会フロアを全て無線LAN化し、議会費でノートパソコン3台、iPad2台を導入。平成24年春以降は、全議員が個人で所持。

【パネル使用】

平成24年3月に鳥羽市議会パネル取り扱い要領を新制定し、本会議場内に新たに46インチモニターを2台導入し、iPadやパソコンで資料を表示できるようになった。平成30年9月から使用画像については、執行部に対して事前配布することに決定。議長への提出締め切りを前日中から前日正午までに変更した。

【タブレット端末の自席への持ち込み】

申し合わせ事項で「本会議、委員会、その他全ての会議におけるパソコン、タブレット端末等の持ち込みについては、審議に関係のある事項に限り使用することができる」と規定。平成24年9月から許可なく全ての会議での使用が可能とした。

【図書館との連携（三重県立、鳥羽市立、市議会図書室）】

平成25年8月から連携。

【会議への飲料持ち込み】

平成26年1月から本会議を除く会議は各自で飲物の持ち込みを可能とした。（本会議については飲食不可）

【鳥羽市議会の運営に関する基準】

平成26年5月に鳥羽市議会の運営に関する基準を制定。

【通年会期制】

平成26年5月から地方自治法第102条の2に規定された通年会期制の採用。

【一般質問の制限緩和】

平成26年9月から副議長は一般質問を自粛するとしていた制限を緩和。

【政務活動費】

平成26年10月に政務活動費の使途について、透明性を確保するため、政務活動費の手引きを作成。平成27年度交付分より領収書のホームページ公開も行っている。

【災害時行動計画】

平成26年12月に災害時の市議会及び議員の行動を明確化するため、鳥羽市議会災害時行動計画を策定。

【傍聴人受付簿の廃止】

平成27年1月に鳥羽市議会傍聴人規則を改正し、傍聴人受付簿を廃止したほか、児童及び乳幼児の傍聴が議長の許可なく可能など、市民が傍聴し易い環境を整備した。

【議案書の郵送廃止】

平成27年2月から各議員への議案書の郵送を廃止。

【実費弁償（証人等）額の引き上げ】

鳥羽市証人等の実費弁償に関する条例を改正し、平成27年4月から学識経験者を参考人招致する場合の費用弁償額を6,100円から12,000円に引き上げた。

【市議会だより（わたしの議会。）】

創刊：昭和53年4月

発行：年5回（2月、5月、6月、8月、11月）

平成27年5月1日号から議会だよりを広報とばと合冊化（折込方式）とする。

平成28年2月より名称を「わたしの議会。」とした。

【表決】

平成27年9月以降、挙手採決から起立採決へ変更。

【政治倫理基準違反による執行部職員の審査請求】

平成27年12月に議員が政治倫理基準に違反する疑いがあると認められるときは、執行部職員も審査請求ができることにするよう、「鳥羽市議会議員政治倫理条例」を一部改正。

【広報広聴委員会】

平成28年5月に会議規則改正し、広報公聴委員会を新たに設置。

【TOBAミラートークの実施】

平成28年9月試行、平成28年11月から再始動。

議会報告会並びに意見交換会をTOBAミラートークとして新たな形で実施。

「平成28年度」

・答志島ママ友サークル 21人（9月）

・母子寡婦福祉会 3人（12月）

- ・菅島の未来を守る会 20人（12月）
- ・成人式実行委員会 4人（1月）
- ・鳥羽市老人クラブ連合会 41人（2月）

「平成29年度」

- ・鳥羽市介護保険サービス事業者連絡会 28人（7月）
- ・鳥羽商工会議所女性部 20人（11月）
- ・鳥羽旅館組合女将あこや会 6人（11月）
- ・鳥羽市老人クラブ連合会（役員） 10人（2月）

「平成30年度」

- ・鳥羽商船高等専門学校電子機械工学科 73人（4月）
- ・鳥羽磯部漁業協同組合 3人（1月）

「令和元年度」

- ・鳥羽旅館組合女将あこや会 6人（7月）
- ・鳥羽商工会議所女性部 23人（10月）
- ・母子寡婦福祉会 2人（11月）
- ・鳥羽なかまち会 8人（11月）

「令和2年度」

- ・鳥羽商工会議所女性部 10人（7月）
- ・鳥羽市教育委員 4人（7月）
- ・鳥羽旅館組合女将あこや会 6人（11月）

「令和3年度」

- ・鳥羽観光施設連合会 6人（7月）
- ・鳥羽旅館組合女将あこや会 5人（7月）

「令和4年度」

- ・鳥羽旅館組合女将あこや会 5人（4月）
- ・浦村カキ養殖業者 6人（8月）
- ・鳥羽旅館組合女将あこや会 5人（9月）
- ・加茂小学校6年生 20人（1月）

【副議長・副委員長の任期変更】

平成29年5月から副議長及び副委員長の任期を1年から2年とすることに決定。

【議会運営委員会委員】

平成29年5月から議会運営委員会委員に議会改革推進特別委員会委員長及び広報広聴委員会委員長が就任することに決定。

【予算決算常任委員会終了後の振り返り及び提言書の提出（決算審査事項）】

平成29年9月から当初予算審査、決算審査については、日毎に議員間での振り返りを行うことに決定。

平成29年度決算審査より試行することに決定し、市長に提言書として提出。

【常任委員会の月1回の開催】

平成30年7月から総務民生常任委員会及び文教産業常任委員会は各委員長の判断により、情報共有の場として月1回開催することに決定。

【行政視察報告】

令和2年度より本会議にて、総務民生常任委員会及び文教産業常任委員会の行政視察報告を実施。

【一括表決の導入】

令和2年12月より議案の一括表決を行うことに決定。

【行政常任委員会の設置】

令和3年度より総務民生常任委員会並びに文教産業常任委員会を一本化し、行政常任委員会を新たに設置することに決定。

【鳥羽市議会基本条例の見直し】

鳥羽市議会基本条例が平成23年の制定から一定期間が経過したことから、本条例の示す市議会のあり方について見直しを行い、今、目指す議会の姿を前文にうたい上げる改正のほか、所要の改正を行った。（令和4年3月）

【オンライン委員会の開催を可能に】

大規模な災害の発生、感染症のまん延等のやむを得ない理由がある場合、オンラインによる委員会の開催及び委員会への参加ができるようにする条例整備を行った。（令和4年3月）

【誓約書の提出】

議員の政治倫理の意識向上のため、本条例に規定する政治倫理基準を遵守する宣誓書の提出を定める条例整備を行った。（令和4年3月）

【執行部の本会議場へのタブレット端末等の持ち込みを可能に】

執行部の本会議場へのパソコン、タブレット端末等の持ち込みを可能とする鳥羽市議会の運営に関する基準の一部改正を行った。（令和4年3月）

【政務活動費の手引き】

備品等の購入や交通費に係る取り扱いを明確にし、「政務活動費の手引き」の一部改正を行った。（令和4年3月）

【鳥羽市議会議員定数の削減】

見直しの検討にあたり、LINEアンケートの実施と、「市議会議員の定数に関するTOBAミライトーク」を開催し、市民の意見を聴取。アンケートとミライトークで出された市民意見を踏まえ、議員間での協議を重ねた結果、議員定数を14人から13人へと1名減とする「鳥羽市議会議員定数条例」の改正を行った。（令和4年6月）

【鳥羽市議会個人情報保護条例の策定】

個人情報の保護に関する規律が改正個人情報保護法に一元化されることから、議会において新たに「鳥羽市議会個人情報保護条例」及び「鳥羽市議会個人情報保護条例施行規程」を策定。（令和5年3月）

1. 議員・特別職報酬 (H24. 4. 1改定)

単位：円

区 分	月 額
議 長	443,000
副 議 長	375,000
議 員	335,000
監査委員手当	40,000

区 分	月 額
市 長	890,000
副 市 長	688,000
教 育 長	615,000

2. 期末手当 (H23. 4. 1改定)

$$\begin{aligned} &\cdot 6月支給率 \frac{120}{100} \times \frac{155}{100} \\ &\cdot 12月支給率 \frac{120}{100} \times \frac{170}{100} \\ &\text{※役職加算} \frac{120}{100} \end{aligned}$$

3. 議員報酬の推移

単位：千円

区 分	昭和59年 12月	昭和61年 10月	昭和63年 11月	平成2年 4月	平成4年 4月	平成6年 4月	平成9年 1月	平成15年 4月	平成24年 4月
議 長	290	325	360	390	430	450	460	445	443
副議長	260	280	310	340	370	385	392	377	375
議 員	230	250	275	300	330	345	352	337	335

4. 旅 費

単位：円

日 当	宿 泊	
県 外	県 内	県 外
2,000	9,800	12,000

5. 費用弁償 (H18. 4. 1改定)

実費旅費 (1 km当たり25円)

6. 行政視察旅費

行政常任委員会
議会運営委員会

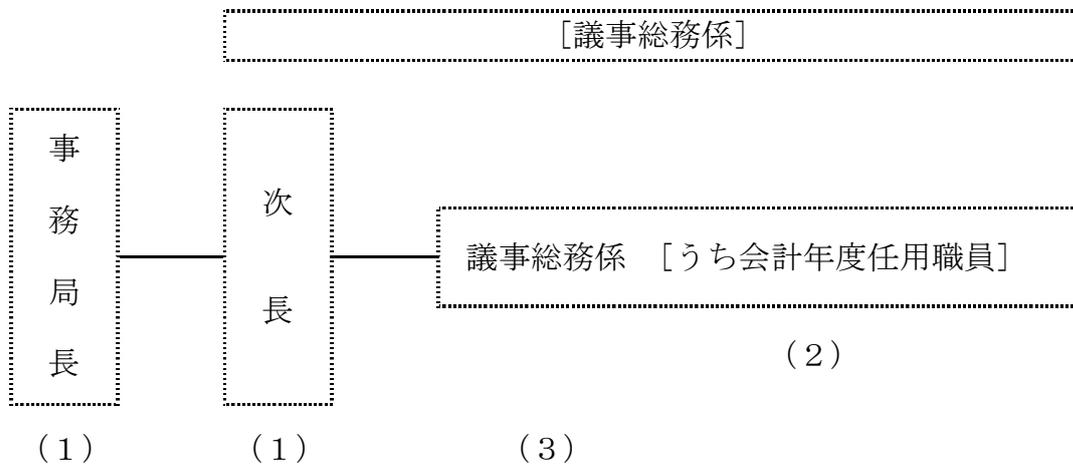
各委員会 1人当たり 50,000円

7. 政務活動費 (H24. 4. 1改定)

各議員 1人当たり 156,000円 (年額)

1. 議会事務局の機構と職員数

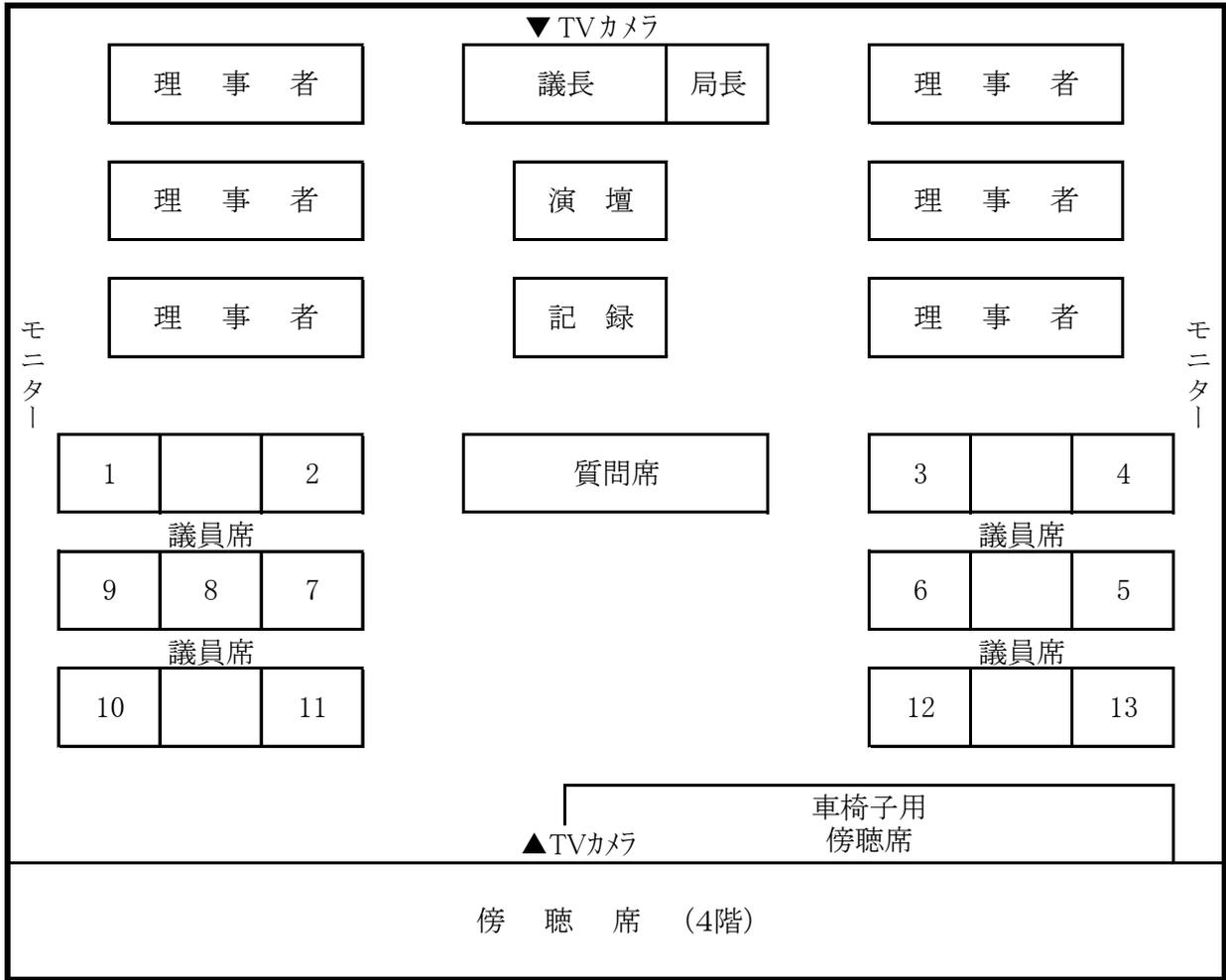
(条例定数6人、現員数5人)



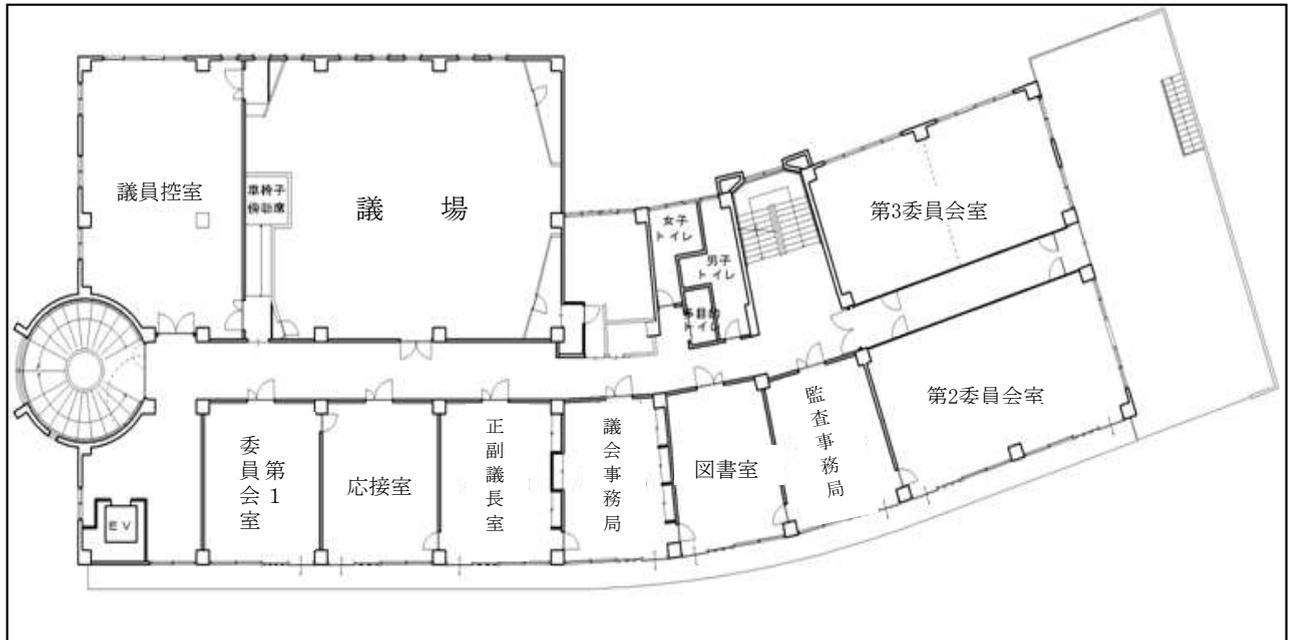
2. 事務分掌

- (1) 議会、委員会及び協議会に関すること。
- (2) 議案、意見書並びに請願及び陳情等に関すること。
- (3) 発言通告に関すること。
- (4) 議決事項の処理に関すること。
- (5) 会議録の調整に関すること。
- (6) 議員の出欠席に関すること。
- (7) 議場の取締りに関すること。
- (8) 各種の調査並びに資料収集に関すること。
- (9) 条例、規則等の制定、改廃等に関すること。
- (10) 議会図書室に関すること。
- (11) 議会報に関すること。
- (12) 職員の人事、服務並びに諸給与に関すること。
- (13) 公印の管理に関すること。
- (14) 文書の收受、発送、整理及び保管に関すること。
- (15) 渉外及び交際に関すること。
- (16) 議会の予算、決算及び経理に関すること。
- (17) 議員の報酬、費用弁償及び諸給与に関すること。
- (18) 物品の管理に関すること。
- (19) 議長会に関すること。
- (20) 議員共済会に関すること。
- (21) 事務局の庶務に関すること。
- (22) その他議会事務に関すること。

1. 議場内配置図



2. 議会関係室配置図



代	議長	副議長	就任年月日	退任年月日
初	河村利平治	押田 薫	S29. 11. 1	S30. 4. 30
2~4	古賀弁吾	小崎市太郎	S30. 5. 2	S33. 5. 1
5	山本音松	谷本 莊司	S33. 5. 2	S34. 4. 30
6	村田吉助	江崎 権三	S34. 5. 8	S35. 5. 15
7	谷本 莊司	山下 由松	S35. 5. 16	S36. 5. 15
8	小崎市太郎	寺本 吉蔵	S36. 5. 16	S37. 5. 20
9	谷本 莊司	加藤 正二	S37. 5. 21	S38. 4. 30
10	小崎市太郎	藤原 兵吉	S38. 5. 8	S39. 5. 5
11~12	谷本 莊司	竹内 元助	S39. 5. 6	S41. 5. 5
13	山下 由松	竹内 清磨	S41. 5. 6	S42. 4. 30
14	小崎市太郎	竹内 清磨	S42. 5. 10	S43. 5. 10
15~16	竹内 清磨	木田 才吉	S43. 5. 11	S45. 5. 10
17	竹内 清磨	浜田 実	S45. 5. 11	S46. 4. 30
18	浜田 実	杉田 留雄	S46. 5. 7	S47. 5. 9
19	竹内 清磨	辻本 徳男	S47. 5. 10	S48. 5. 10
20	竹内 清磨	中山 忠美	S48. 5. 11	S49. 5. 9
21	浜田 実	清水 桃太郎	S49. 5. 10	S50. 4. 30
22	前田 忠次	城山 新一	S50. 5. 9	S51. 5. 9
23	辻本 徳男	山下 金市	S51. 5. 10	S52. 5. 9
24	古賀 武司	有竹 楠茂	S52. 5. 10	S53. 5. 8
25	清水 桃太郎	勢力 吉美	S53. 5. 8	S54. 4. 30
26	山下 金市	中村 楠次	S54. 5. 8	S55. 5. 9
27	有竹 楠茂	山本 佐市	S55. 5. 10	S56. 5. 8
28	中村 楠次	木下 忠六	S56. 5. 9	S57. 5. 7
29	山本 佐市	浜口 和平	S57. 5. 8	S58. 4. 30 議長
30	城山 新一	松井 鶴生	S58. 5. 9	S59. 5. 8 副議長
31	辻本 徳男	山本 清美	S59. 5. 9	S60. 5. 8
32	勢力 吉美	斉藤 和巳	S60. 5. 9	S61. 5. 12
33	小久保 又四郎	西井 豊一	S61. 5. 12	S62. 4. 30
34	中村 楠次	木田 楠次郎	S62. 5. 14	S63. 5. 8
35	山本 清美	片岡 納	S63. 5. 9	H元. 5. 8
36	木田 楠次郎	家田 満雄	H元. 5. 9	H 2. 5. 8
37	小久保 又四郎	吉川 昭一	H 2. 5. 9	H 3. 4. 30
38	片岡 納	木田 勇三	H 3. 5. 15	H 4. 5. 14
39	家田 満雄	寺本 春夫	H 4. 5. 15	H 5. 5. 13
40	中村 楠次	高橋 信夫	H 5. 5. 14	H 6. 5. 8
41	吉川 昭一	山下 喜郎	H 6. 5. 9	H 7. 4. 30

代	議長	代	副議長	就任年月日	退任年月日
42	森 下 幸 穂	42	小久保 昌 一	H 7. 5. 15	H 8. 5. 7
43	山 下 喜 郎	43	増 田 幸 男	H 8. 5. 8	H 9. 5. 8
44	佐々木 高 生	44	山 本 楠 輝	H 9. 5. 8	H10. 5. 12
45	片 岡 納	45	浜 口 清 意 直 木 伝 史	H10. 5. 12 直木副議長H10. 6. 22	浜口副議長H10. 5. 28 H11. 4. 30
46	高 橋 信 夫	46	中 村 和 徳	H11. 5. 18	H12. 5. 11
47	寺 本 春 夫	47	寺 下 進	H12. 5. 11	H13. 5. 15
48	寺 下 進	48	直 木 伝 吏	H13. 5. 15	H14. 5. 15
49	吉 川 昭 一	49	山 下 伴 郎	H14. 5. 15	H15. 4. 30
50	中 村 和 徳	50	藤 原 喜代造	H15. 5. 16	H16. 5. 18
51	山 下 伴 郎	51	村 山 俊 幸	H16. 5. 18	議長 H17. 5. 18 副議長H17. 4. 1
52	木 村 幸 夫	52	野 村 保 夫	H17. 5. 18	H18. 5. 18
53	世 古 安 秀	53	木 下 行 保	H18. 5. 18	H19. 1. 29
〃	木 下 行 保	〃	橋 本 真一郎	H19. 1. 29	H19. 4. 30
54	野 村 保 夫	54	橋 本 真一郎	H19. 5. 18	H20. 5. 14
55	竹 内 久	55	中 村 欣一郎	H20. 5. 14	H21. 5. 19
56	中 村 欣一郎	56	山 本 泰 秋	H21. 5. 19	H22. 5. 13
57	坂 倉 紀 男	57	木 下 爲 一	H22. 5. 13	H23. 4. 30
58	橋 本 真一郎 坂 倉 紀 男	58	浜 口 一 利	H23. 5. 13 坂倉議長H23. 6. 27	橋本議長H23. 6. 27 浜口副議長H24. 5. 15
		59	松 井 一 弥	H24. 5. 15	H25. 5. 14
59	野 村 保 夫	60	坂 倉 広 子	H25. 5. 14	H26. 5. 15
		61	木 下 爲 一	H26. 5. 15	H27. 4. 30
60	浜 口 一 利	62	井 村 行 夫	H27. 5. 15	H28. 5. 15
		63	井 村 行 夫	H28. 5. 16	H29. 5. 15
61	浜 口 一 利	64	木 下 順 一	H29. 5. 15	H31. 4. 30
62	木 下 順 一	65	山 本 哲 也	R 1. 5. 15	R 3. 5. 17
63	木 下 順 一	66	河 村 孝	R 3. 5. 17	R 5. 4. 30
64	河 村 孝	67	濱 口 正 久	R 5. 5. 15	現 在

年月日	記 事
昭和29年	11月 1日 市制施行・市章決定
	11月 1日 第1回市議会開会
	12月11日 中村幸吉氏初代市長に当選
昭和30年	4月 8日 市議会議員選挙（各地区選出の小選挙区制）
昭和31年	10月 1日 市長任命による初の教育委員会委員の選任
昭和32年	9月 1日 本浦、今浦、石鏡小学校を統合し、鏡浦小学校を創立
	9月10日 鏡浦小学校開校
昭和33年	1月28日 市議会議員選挙1市1区の大選挙区制に決まる
	4月 1日 監査委員設置
昭和34年	4月 1日 選挙管理委員会事務局を設置
	9月26日 伊勢湾台風襲来、死者1名、全壊174戸
昭和35年	5月20日 中之郷海岸道路完成
昭和36年	1月20日 加茂干拓潮止め式
	10月17日 新市庁舎建設決定
	11月17日 イギリスのアレキサンドラ女王来鳥
昭和37年	3月15日 「交通安全都市」宣言
	5月20日 天皇、皇后両陛下来鳥
	10月19日 新市庁舎完成
昭和38年	1月 5日 安楽島橋竣工
	2月 9日 商工会議所設立
	11月 1日 市消防本部開設
昭和39年	4月18日 水産研究所開設
	3月25日 「衛生都市」宣言
	10月20日 伊勢志摩スカイライン開通
	11月 1日 市制施行10周年
昭和40年	7月18日 市民プール・市民道場完成
昭和41年	3月24日 米国カリフォルニア州サンタバーバラ市と国際姉妹都市提携
	6月10日 中村市長を使節団長としてサンタバーバラ市を訪問
	10月 4日 サンタバーバラ市長、マックギルブレイ夫妻一行来鳥
	12月 4日 市長選挙、谷本荘司氏当選
	12月21日 坂手島上水道海底送水管完成
昭和42年	4月22日 ワシントンより桜の女王H・デイビスさん来鳥
	9月 1日 池上町・鳥羽五丁目・幸丘・若杉町の四町が誕生
	10月11日 サンタバーバラ市スタンレーバートレット収入役一行来鳥
	11月 1日 故御木本幸吉翁初代名誉市民に推挙
昭和43年	2月24日 故中村幸吉氏名誉市民に推挙
	6月11日 一般公募により塩田良平氏を団長としてサンタバーバラ市訪問
	10月 7日 故小田嶋修三氏名誉市民に推挙
	10月 8日 サンタバーバラ市リチャードブーゼリー氏一行来鳥
	11月 1日 市民憲章制定
	12月 5日 菅島簡易水道海底送水管完成
昭和44年	10月18日 サンタバーバラ友好親善使節団、収入役一行来鳥
	11月 1日 市の象徴制定〈木〉やまとたちばな〈花〉はまなでしこ〈鳥〉かもめ
	12月27日 城山児童公園完成
昭和45年	3月 1日 近畿日本鉄道鳥羽線開通
	12月 1日 市営佐田浜駐車場完成

年月日	記 事
昭和46年	4月13日 今浦地区上水道完成
	5月31日 谷本市長を使節団長としてサンタバーバラ市訪問
	9月 7日 天皇、皇后両陛下来鳥
	10月 4日 消防本部新庁舎完成
	12月25日 近鉄鳥羽駅前に観光案内所開設
昭和47年	1月 1日 75歳以上老人医療費無料化実施
	11月 1日 鳥羽市民文化会館完成
	11月22日 答志島簡易水道海底送水管完成
昭和48年	3月18日 近鉄鳥羽駅前～中之郷間バイパス工事完成
	3月31日 パールロード鳥羽～磯部間完成 (18.2km)
	4月14日 鳥羽市民体育館完成
	4月25日 学校給食センターが相差町に完成
	7月 1日 0歳児医療費無料化実施
	8月 1日 全国高等学校総合体育大会相撲競技開催
	8月 1日 皇太子ご夫妻来鳥
	10月 1日 65歳以上ねたきり老人医療費無料化実施
昭和49年	3月 5日 市営定期船中之郷事務所完成
	3月31日 雇用促進住宅安楽島宿舎完成
	8月 3日 中央公園相撲場完成
	10月17日 中央公園野球場完成
	11月 1日 市制施行20周年
	11月20日 安楽島大橋完成
昭和50年	3月23日 第27回全日本フェンシング選手権大会開催
	3月31日 市営定期船 石鏡航路を廃止
	5月11日 英国エリザベス女王来鳥
	5月27日 第30回国民体育大会 (相撲競技・フェンシング競技主会場) 開催
昭和51年	2月16日 市営定期船に初のFRP (強化プラスチック) 船就航
	6月 1日 高丘町誕生
	11月10日 答志・桃取局電話自動化
	11月13日 スリランカ共和国首相来鳥
昭和52年	6月19日 休日診療所開設
	9月30日 市営テニスコート完成
	11月15日 国際観光文化都市に指定 (建設省)
昭和53年	3月20日 松尾ゴミ処理場破砕機完成
	5月31日 神島開発総合センター完成
	7月20日 野球場ナイター施設完成
昭和54年	4月 1日 鳥羽・桃取・菅島中学校を統合し、鳥羽東中学校を創立
	8月11日 神島簡易水道海底送水管完成
	10月23日 鳥羽市武道館完成
昭和55年	1月23日 学校給食中央共同調理場完成
昭和56年	4月 1日 清掃センター焼却処理施設操業開始
	6月 1日 大明東町、大明西町が誕生
	6月29日 市民の森完成
昭和57年	12月 1日 救急医療情報システムを開始
昭和58年	3月 1日 若竹団地完成
	8月 2日 全国高等学校総合体育大会相撲競技開催

年月日	記 事
昭和59年	11月 1日 市制施行30周年
昭和60年	4月21日 市長選挙、濱口光彦氏当選
	10月26日 全国レクリエーション大会開催
昭和61年	6月20日 「非核平和都市」宣言
	8月31日 上水道管理センター完成
昭和62年	3月10日 堅神火葬場完成
	7月 1日 中央公園水泳プール完成
	8月19日 全国中学校相撲選手権大会開催
昭和63年	4月28日 鳥羽小浜開発プロジェクト研究会設置
	7月14日 集中豪雨で市民4人が犠牲
	11月1日 ことぶき人材センター設立
平成元年	1月27日 加茂川大改修工事5ヵ年計画で着工
	4月 9日 市長選挙、水谷皓一氏当選
	7月17日 鳥羽市立図書館オープン
	7月21日 サンタバーバラ友好使節団シーラロッジ市長一行来鳥
	9月11日 伊勢湾口道路気象観測調査開始（神島）
平成 2年	3月19日 ふるさと創生事業「マリン文学フェスティバル」に決定
	3月27日 住民情報オンライン・システムスタート
	3月27日 坂手出張所完成
	6月25日 水谷市長を使節団長としてサンタバーバラ市訪問
	9月 8日 駐日中国大使、楊振亜夫妻来鳥
	9月15日 ギリシャ国アテネ市長、ニコラス・ヤトラコス氏夫妻来鳥
平成 3年	2月 8日 菅島漁村センター完成
	3月28日 佐田浜第二駐車場立体化完成
	6月20日 加茂中学校新校舎完成
	10月25日 サンタバーバラ市での姉妹都市提携25周年式典に参列
平成 4年	3月20日 答志保育所新園舎完成
	5月20日 市国際交流推進協議会設立
	6月 7日 特別養護老人ホーム「鳥羽陽光苑」完成ディサービス等開始
平成 5年	3月24日 「潤いと活力のあるまちづくり」で自治大臣表彰
	3月28日 加茂出張所・岩倉老人憩いの家完成
	6月18日 「人権尊重都市」宣言
	7月11日 養殖真珠発明100周年で鳥羽駅に御木本幸吉像完成
	7月30日 市内中学生代表6人がサンタバーバラ市訪問（12日間）
	11月15日 松尾工場アパート第1期完成
平成 6年	4月 1日 答志島清掃センター稼働
	5月14日 答志町出張所・老人憩いの家完成
	7月15日 加茂川大改修工事完成
	7月23日 サンタバーバラ市から国際交流員来鳥
平成 7年	3月16日 小浜小学校新校舎完成
	4月11日 今浦老人憩いの家完成
	6月23日 国際交流訪問親善使節団がサンタバーバラ市訪問
	7月12日 菅島コミュニティアリーナ完成
平成 8年	1月30日 鳥羽ぶらじる丸閉館
	3月13日 サンタバーバラ市姉妹都市協会顧問来鳥（4日間）
	3月15日 国崎小学校新校舎完成

年月日	記 事
平成8年	4月 1日 伊勢湾口道路地震観測調査開始（答志島）
	7月14日 安楽島海岸で古代恐竜化石発見される
	8月21日 全国中学校相撲選手権大会開催
平成 9年	3月31日 相差浄化センター供用開始
	4月21日 市長選挙、井村均氏当選
	9月29日 鳥羽恐竜展開催（12月14日まで）
	10月 1日 防災無線併用開始
平成10年	3月20日 鳥羽市ホームページ開設
	10月 1日 鳥羽市を美しくする条例施行
平成11年	1月18日 日和山遊歩道完成
	1月29日 市営住宅「リバーサイド幸丘」完成
	3月23日 恐竜化石発掘現場遊歩道完成
	3月23日 菅島町生ゴミ処理施設完成
	5月31日 鏡浦小学校新校舎完成
平成12年	2月29日 鳥羽カキ殻加工センター完成
	4月 1日 保健福祉センター「ひだまり」完成
	10月 1日 みえ・スカイフェスタ2000開催（10月22日まで）
平成13年	4月 1日 情報公開制度施行
	11月27日 天皇、皇后両陛下来鳥
平成14年	4月 1日 ケーブルテレビ開局（本土地域）
平成15年	4月 1日 ケーブルテレビ開局（離島地域）
平成16年	4月25日 市制施行50周年記念事業開会式
平成17年	4月21日 市長選挙、木田久主一氏当選
	5月 2日 カモメの散歩道完成
	6月10日 あおぞら保育所完成
平成18年	3月24日 池上公園完成
	3月31日 市道岩崎錦町線修景工事完成
	9月29日 庁舎耐震補強等改修工事完成
	10月 1日 一般家庭可燃・不燃ごみ有料化
平成19年	3月10日 鳥羽リサイクル活動拠点施設（リサイクルパーク）完成
	3月20日 寝屋子交流の館竣工式
	6月27日 鳥羽志勢クリーンセンター竣工式
	10月 1日 神島海底送水管事故
平成20年	4月14日 市営定期船新船「きらめき」就航式
	4月20日 白木コミュニティセンター竣工式
平成21年	1月15日 鳥羽小学校新校舎完成
	3月14日 堅神公民館竣工式
	3月15日 菅島しまっこ橋完成
	3月19日 答志島コミュニティアリーナ竣工式
	4月28日 市営定期船新船「かがやき」就航式
	7月23日 伊良子清白の家開館
	10月 1日 「かもめバス」運行出発式
平成22年	3月20日 鳥羽城三ノ丸広場完成
	3月25日 梯子付消防ポンプ自動車お披露目式
	4月 1日 2人目以降の保育料無料化実施
	4月 3日 中央公園相撲場土俵開き

年月日	記 事
平成22年	9月 9日 議会のインターネット（ユーストリーム）中継実証実験開始
	10月 1日 伊勢湾フェリー運行存続開始
平成23年	2月25日 桃取コミュニティセンター竣工式
	3月28日 畔蛸コミュニティセンター竣工式
	3月30日 鳥羽マリンターミナルテープカット式
	4月 1日 とぼっ子サポートセンター「ほっぷ！」開設 「鳥羽マリンターミナル」供用開始
	5月 1日 議会のインターネット（ユーストリーム）中継本格実施
	5月 2日 鳥羽警察署（新庁舎）供用開始
	6月 6日 6月真珠議会の開催
	6月27日 議員発議で「津波だ！みんな逃げよう宣言」制定
	7月 1日 兵庫県三田市と友好都市宣言締結
	10月17日 岐阜県美濃市と災害時相互応援協定締結
	11月 5日 鳥羽市一斉津波避難訓練実施（7,515人参加）
	11月13日 姉妹都市提携45周年記念 サンタバーバラ市長等19名ご来鳥 ～16日
	11月24日 駆逐艦春雨殉難100年記念祭
平成24年	3月27日 弘道小学校新校舎完成
	4月30日 佐田浜第4駐車場開設
	7月 4日 長野県大町市と災害時相互応援協定締結
	7月17日 第二伊勢道路2号トンネル貫通式
	8月 9日 鳥羽城跡（第7次）発掘調査 ～11月16日
	11月 6日 長野県飯島町と災害時相互応援協定締結
	11月17日 三重県・鳥羽市合同防災訓練実施（5,686人参加）
	12月14日 加茂小学校新校舎完成
平成25年	1月18日 兵庫県三田市と災害時相互応援協定を締結
	3月21日 鳥羽市障がい者福祉センター「ゆめぱーる」完成
	5月 1日 鳥羽大庄屋「かどや」開館
	6月 2日 吉永小百合さん49年振りに神島来島
	9月14日 国道167号（第二伊勢道路）開通7.6km 事業費約315億円
	10月14日 東京六本木ヒルズにおいて「御遷宮奉祝海と愛に育まれた 鳥羽の祝祭～鳥羽のあまちゃん100人上京！食と祝の祭典～」 を開催
	11月23日 浦村アサリ研究会が第52回農林水産祭水産部門天皇杯受賞
	12月 佐田浜農水産物直売所建設工事着工
平成26年	1月 鳥羽・志摩の海女による伝統的素潜り漁技術が県の無形民俗文化財に指定
	4月 鳥羽志勢広域連合やまだエコセンター開設
	4月 鏡浦中学校を鳥羽東中学校へ統合
	5月～12月 鳥羽市制施行60周年として様々な記念事業を実施
	7月 菅島採石場における新たな緑化協定を締結
	10月 島の旅社推進協議会が総務大臣賞を受賞
	10月 ウォーキングサポート事業をスタート
	10月14日 鳥羽市農水産物直売所「鳥羽マルシェ」開設

年月日	記 事
平成26年	11月 幼稚園、小学校の主要教室等にエアコン整備着手
	11月 答志島で「鯛の千匹干し」を実施、翌12月ギネス世界記録に認定
平成27年	1月 安楽島保育所新園舎完成
	2月 漁業と観光の連携促進協議会が発足
	3月 鏡浦診療所石鏡分室が新築移転
	4月 かもめ幼稚園の給食開始 水道料金値下げ実施
	6月 伊勢志摩サミット開催決定 神島小中学校建設（用地造成工事）に着手
	7月 “鮑”千個HOSUを開催
	8月 地域おこし協力隊3名就任 現役海女アイドル「とばあば」を結成
	9月 台風18号による豪雨災害で市内に甚大な被害発生
	10月 幼稚園・小中学校等の主要教室にエアコン整備完了 22世紀奈佐の浜プロジェクトによる海岸清掃
	10月・11月 みなとオアシスとばFesta2015開催 （第7回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inとば 来場者21,500人）
	11月 鳥羽足湯処「とまり湯」のオープン 海女サミット2015 in 鳥羽を答志島で開催 （安倍昭恵首相夫人、鈴木三重県知事来鳥） 夜間津波避難訓練を地区別に実施
	12月 現役海女アイドル「とばあば」がCDデビュー
平成28年	1月 移住・定住元年とし、ワンストップ窓口を開設
	4月 移住・定住係を設置し、移住・定住市区新事業に着手
	3月 消防署南鳥羽出張所完成
	4月 3隻目のバリアフリー船「しおさい」就航
	5月 伊勢志摩サミット開催&配偶者プログラムin御木本真珠島
	7月 環境省が伊勢志摩を含む8カ所を「ナショナルパーク」として選定
	10月 アメリカ合衆国サンタバーバラ市姉妹都提携50周年記念&訪問団派遣
	10月 鳥羽マルシェが農林水産省選定のディスカバー農山漁村（むら）の宝に選定
	11月 答志・桃取漁港関連道が開通
	11月 伊勢志摩国立公園指定70周年記念式典と全国エコツーリズム大会を開催
平成29年	3月 伊勢二見鳥羽ライン全線無料化
	3月 神島小中学校新校舎完成
	4月 全国菓子大博覧会開催
	10月 全国初海女条例制定「鳥羽市海女のまち条例」
	10月 消防庁舎用地造成工事着工
	10月 台風21号22号が襲来
	10月 海の博物館の市立化

年月日	記 事	
平成29年	11月 竹あかりと月あかりnightイベント開催	
	11月 鳥羽市防災訓練「南海トラフ地震避難訓練等」実施	
	12月 三重県地震津波防災シンポジウム開催	
平成30年	3月 子どもゲーター祭り開催	
	3月 市立海の博物館に三重大学伊勢志摩サテライト「海女研究センター」開設	
	3月 太陽光発電関係条例制定	
	3月・10月 市立海の博物館で「恋するマーケットumine」開催 (約2,400人来館)	
	4月 寝屋子の島留学 家族留学生受入	
	5月 答志舟越製氷施設が新たに完成	
	5月～ 映画「ふるさとがえり」上映会を開催	
	6月 都市計画事業基金条例制定	
	7月 台風12号	
	8月 台風20号	
	9月 台風21号24号	
	8月 城山公園に♡TOBAモニュメント完成	
	10月 豪華客船ダイヤモンドプリセスが初入港	
	10月 SAKEselection開催	
	10月 答志島トロさわらブランド化	
	10月 旧職員住宅を神島保育所へリノベーションする工事を開始	
	10月 平成30年度鳥羽市防災訓練実施	
	平成30年	11月 平成30年度大規模津波防災総合訓練実施
		11月 三重とこわか国体鳥羽市実行委員会発足
		11月 新消防庁舎用地造成工事完成
12月 鳥羽市民文化会館大ホール閉鎖		
6月～12月 とばびと活躍プロジェクトにおける雇用対策 就労体験バスツアー (6・9・11・12月) 福祉と観光の連携による市民就労促進事業「プチ勤務おしごと カタログ作成」 (10月) 無料職業紹介所開設 (10月) とばびと活躍プロジェクトアクションプランの策定 (11月)		
令和元年		1月 英語検定チャレンジ事業実施 (383 人受験) 鳥羽うみアートプロジェクトを開催 「かいそう画」 おおたはるか 「ここは、海のなか」 佐藤紘子 安楽島アートプロジェクト 「公園遊具 PHOTO FUJIO KITO」
		3月 新水産研究所建設工事着工
		4月 神島保育所リノベーションにより改築移転
		5月 「海女 (Ama)に出逢えるまち鳥羽・志摩」が日本遺産に認定 オイローパ2 の初入港 (5月)をはじめ、大型クルーズ船13 回来港
		7月 雨の中の「鳥羽みなとまつり」
	8月 ふるさと納税の返礼品に真珠製品復活 神島診療所 小泉圭吾医師 「やぶ医者大賞」受賞 ふるさと納税の返礼品に真珠製品復活	
	9月 消防庁舎建設工事着工 市民体育館の改修工事及びサブアリーナ増築工事着工	
	10月 パリ日本文化会館において「海女文化トークショー」を開催 第74 回国民体育大会 成年男子エペ 優勝 (三重県選手団) 答志島和具浦の塩蔵ワカメがMEL 認証を取得	
	11月 第72回全日本フェンシング選手権大会で山田優氏が男子エペ個人 優勝	

年月日	記 事
令和2年	3月 フェンシンググランプリ ブタペスト大会で山田優選手が男子エペ優勝
	4月 鳥羽市水産研究所が小浜町に完成
	5月 40年ぶりに答志町・神島間に海底送水管を布設
	8月 三重大学水産実験所が小浜町に移転決定
	鳥羽市消防庁舎が安楽島町に完成
	9月 ワークーション等推進事業に着手
	移動販売車の運用を開始
	第73回全日本フェンシング選手権大会で小久保真旺選手が男子サーブル史上最年少17才で優勝
	11月 鳥羽市民体育館サブアリーナ完成
	令和2年度鳥羽市防災訓練にて「風水害等避難所運営訓練」を実施
	TRIMetバーチャル鳥羽離島病院実証プロジェクトスタート
令和3年	3月 鳥羽市消防庁舎移転供用開始
	鳥羽市・三重大学・三重県水産研究所・鳥羽商船高等学校・KDDI株式会社・株式会社KDDI総合研究所による「海洋DX6者協定」を締結
	4月 三重大学水産実験所が小浜町に移転
	新型コロナワクチンの接種を開始
	小中学校においてタブレット端末を使った授業を本格実施
	5月 三重大学と「鳥羽海洋教育研究センター設置に関する覚書」を締結
	7月 山田優選手が東京2020オリンピックで金メダルを獲得
	8月 鳥羽ざかな消費拡大事業「とば魚to Eatキャンペーン」を実施
	鳥羽市プレミアム付き商品券「やまとたちばな」を販売
	9月 新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者に対する食料等の物資支援を実施
10月 国際交流員としてフランス出身のカゾ・ポーリンさんが着任	
10～11月 楽天トラベルクーポン（電子）、とば旅おとクーポン（紙媒体）を発行	
令和4年	11月 山田優選手に鳥羽市初の「市民栄誉賞」を贈呈
	5月 みえ応援ポケモン ミジュマルが鳥羽で活躍
	6月 松尾第2期工業団地に企業が進出
	10月 菅島灯台が国の重要文化財に指定
	オクトバ「鳥羽の日・鳥羽の月」が盛大に開催
	TRIMetバーチャル鳥羽離島病院構想の展開
	11月 パリセミナーの開催
12月 ゼロカーボンシティ宣言	

海のシリコンバレー
本格展開